

「オンラインデータベースの構築による科学技術の理解増進」により、
文部科学大臣賞表彰『科学技術賞（理解増進部門）』を受賞

丸善株式会社（代表者：小城武彦 / 本社：東京都中央区）の出版事業部（注1）は、このたび、平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰・科学技術賞（理解増進部門 / 注2）を受賞いたしました。受賞内容及び理由は次のとおりです。

注1： 当社の出版事業部は、自然科学、科学技術・工学、医学、薬学分野を得意とし、書籍やDVDなど映像メディアの編集、出版を行なっています。

注2： 科学技術に関する研究開発・理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、更に日本国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とした表彰。このうち、当社が受賞した「理解増進部門」は、青少年をはじめ広く国民の科学技術に関する関心及び理解の増進等に寄与し、または地域において科学技術に関する知識の普及啓発等に寄与する活動を行った者を対象に表彰されます。

- 業績名： オンラインデータベースの構築による科学技術の理解増進
 - 『化学書資料館』 <https://www.chem-reference.com/index.html>
 - 『理科年表プレミアム』 <http://www.rikanenpyo.jp/>
- 受賞者： 丸善株式会社 出版事業部業務部長 山本幸夫
（受賞理由となった業績当時； 出版事業部eプロダクツ部長）
- 受賞理由： 化学実験・論文作成・特許文書作成に必要な図書を網羅した『化学書資料館』、及び、暦・天文・気象・物理、化学・地学・生物・環境に関する約15,000項目もの図表データを収録した『理科年表プレミアム』の二つのデータベース構築により、利用者が場所を選ばずに学習・研究に必要な図書の閲覧やデータの加工が可能となり、利用者の効果的かつ効率的な学習・調査活動の後方支援に寄与したことが評価されました。
- 背景： 日本の学術研究の場において、
 - (ア) 国内で流通する科学系オンラインデータベースは、海外コンテンツの充実に比べて日本語のコンテンツが乏しいこと
 - (イ) 学術雑誌の電子化の普及に比べて書籍の電子化が遅れていること
 - (ウ) 図書館資料の保管スペースが飽和状態であること
 - (エ) 所蔵本の汚損や、紛失による欠本状態があることという問題点が認識されていきました。そこで、科学技術系の出版社である当社が、この問題を解決し、研究者の環境に合わせたコンテンツを提供することが科学技術の発展に貢献するとの思いから、データベースの開発にあたりました。

当社は本年2月1日に株式会社図書館流通センターと経営統合し、共同持株会社「^{シーエイチアイ}CHIグループ株式会社（代表者：小城武彦 / 本社：東京都新宿区 / 東証1部上場 / 以下、「CHI」）」を設立いたしました。CHIの基本戦略の一つに、「書籍の電子化への主体的取組み」を掲げています。CHIの主要事業会社である当社出版事業部の電子的事業の取組みが、今回、大変栄誉ある文部科学大臣賞・科学技術賞を受賞したことは、CHI及び丸善にとって大きな励みであり、今後も、出版業界が迎えている電子化時代においても最良の知を提供し続ける企業集団として、日本の社会に貢献していく所存です。